

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書

文書番号 : EDEFHD0002

発行者の名称 : エイダイ工業株式会社

発行者の住所 : 大阪府堺市美原区小寺729

宣言の対象 : 住宅用サッシ (附属書: EFHD2-001参照)

上記の宣言の対象は、次の文章の要求事項に適合しています。

〈規格/文章番号〉	〈規格名称/表題〉	〈版数/発行日〉
JIS A 2102-1	窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第1部：一般	2015年6月22日
JIS A 2102-2	窓及びドアの熱性能－熱貫流率の計算－第2部：フレームの数値計算方法	2011年3月22日
JIS R 3106	板ガラスの透過率・反射率・放射率の試験方法及び建築用板ガラスの日射熱取得率の算定方法	2019年3月20日
JIS R 3107	建築用板ガラスの熱貫流率の算定方法	2019年3月20日
JIS A 4710	建具の断熱性能試験方法	2015年3月20日

追加情報 : 適合性能項目：熱貫流率 並びに 日射熱取得率

問合せ先 : エイダイ工業株式会社
大阪府堺市美原区小寺729
TEL : 072-362-5525 FAX : 072-362-5574

代表者又は代理人の署名 :

蒲田 靖



発行日 : 2024年7月29日

発行場所 : エイダイ工業株式会社
製造管理部

役職名・氏名 : 商品開発リーダー 蒲田 靖

この文書はJIS Q 17050-1に基づき作成された自己適合宣言書です。

〔平成28年省エネルギー基準対応〕

JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（付属書）

自己適合宣言書番号	EDEFHD0002	附属書番号	EFHD2-001
発行者の名称	エイダイ工業株式会社		
作成日	2024年7月29日	改定日	
商品	EFH-D2		
仕様	アングル無し_2連窓		
窓種	巾木付FIX窓断熱仕様		

本附属書は、自己適合宣言書と合わせてお使いください。

〈開口部の熱貫流率〉

- ・計算値は、JIS A 2102-1並びに国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に基づき一般社団法人リビングアメニティ協会が運営するWindEyeにより計算された代表試験体の熱貫流率です。
- ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づきます。
- ・記載されている内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。予めご了承ください。

〈日射熱取得率〉

- ・ガラス仕様並びにガラスの熱貫流率は国立研究開発法人 建築研究所「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第四節 日射熱取得率 6 開口部」に基づく値です。

ガラス構成ごとの開口部の熱貫流率区分・開口部の日射熱取得率

ガラスの仕様			日射熱取得率						熱貫流率(W/m2・K)			
			付属部材なし		和障子		外付け ブラインド		付属部材 なし	シャッター 雨戸付	和障子	風除室 あり
			夏	冬	夏	冬	夏	冬				
三層 複層	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型	0.40	0.22	0.25	0.14	0.09	0.05	2.26	2.06	1.94	1.85
		日射遮蔽型	0.25	0.13	0.16	0.09	0.06	0.03				
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.44	0.24	0.28	0.15	0.10	0.06	2.52	2.27	2.13	2.01
		日射遮蔽型	0.28	0.15	0.19	0.10	0.07	0.04				
	三層複層ガラス		0.54	0.29	0.28	0.16	0.13	0.07	2.87	2.55	2.38	2.23
二層 複層	Low-E二層複層ガラス	日射取得型	0.48	0.26	0.28	0.16	0.11	0.06	2.55	2.29	2.15	2.03
		日射遮蔽型	0.30	0.16	0.19	0.11	0.08	0.04				
	二層複層ガラス		0.59	0.32	0.28	0.16	0.13	0.07	3.50	3.05	2.83	2.59